

平成23年度

優れた教育活動表彰

1 学校（11校）

学 校 名	学校(園)長氏名	表 彰 の 理 由
雲南市立西幼稚園	飯 石 桂 子	小学校と協力して登校園を実施したり、合同の研修会等を実施する等小学校との有機的な連携を実施している。また、地域の名人とともに栽培活動に積極的に取り組んだり、自然遊びのできるエリアを地域と共に整備するなど、地域とのつながりを大切にした保育のあり方や開かれた幼稚園経営の教育実践について熱心に取り組んでいる。
松江市立母衣小学校	瀧 野 一 夫	平成21年度島根県教育研究大会において、「共に生きる力を育む確かな学びの追及～一人一人の特性を大切にする授業づくりの実践～」を研究主題とし、実践を重ねた。その成果を「母衣小スタイル」としてまとめ、日々の学習指導に生かしている。21年度以降も児童への積極的な支援がなされ、一人一人を大切にし、学ぶ意欲を高める授業づくりに取り組んでいる。
松江市立雑賀小学校	河 原 史 佳	道徳の時間と教科・特別活動等との密接な関連を図る取組を行い、全校の児童が「道徳は大切な学習」という意識をもつようになった。平成21・22年度道徳教育実践研究事業研究指定校（文部科学省）として、本県の道徳教育の推進に大きく貢献し、研究指定が終了した後も、これまでの成果をもとに、道徳の時間の授業づくりの工夫に力を入れた実践研究に継続的に取り組んでいる。
出雲市立中部小学校	石 原 順	子どもたちの興味関心、問題意識・共感を高めたり、学校全体で道徳教育に取り組んだ。また、道徳だよりを定期的に発行し、学校・家庭・地域が連携した道徳教育を推進した。平成21・22年度道徳教育実践研究事業研究指定校（文部科学省）として、本県の道徳教育の推進に大きく貢献し、研究指定が終了した後も、これまでの成果をもとに、学校の全教育活動において道徳教育に取り組んでいる。
大田市立志学小学校	安 部 茂 寿	豊かな三瓶山の自然の中で、児童が四季折々の三瓶山とかかわる「三瓶だいすき活動」を通して、ふるさと三瓶の素晴らしさを体感し郷土への愛着を深める教育活動を継続実践している。平成22年度に、3・4年生が総合的な学習の時間に「三瓶高原ふるさと絵はがき」を制作するなど、平成16年以降、地域住民と共同した観光PR活動に取り組んでいる。

学 校 名	学校(園)長氏名	表 彰 の 理 由
隠岐の島町立五箇小学校	佐々木 幸 子	児童の問題意識が活かされた授業づくりや学校・家庭・地域が連携した道徳教育の推進を行った結果、積極的に意見提案したり、活動する児童が多くなった。平成21・22年度道徳教育実践研究事業研究指定校（文部科学省）として、本県の道徳教育の推進に大きく貢献し、研究指定が終了した後も、学校経営の重点の一つに道徳教育の推進を位置づけ、継続的に実践研究に取り組んでいる。
松江市立玉湯中学校	山 根 貴 史	平成17・18・19年度文部科学省指定「確かな学力育成のための実践研究」指定を受け、思考力・判断力・表現力の育成に取り組み、成果をあげた。20年度以降もその成果を踏まえ、生活ノート、新聞作成等の指導を継続させ、生徒の「書く力」を育てている。また、学年・学級・教科等の経営案に「話す・聞く・話し合う力」の育成を位置づけるなど、特色ある取組を組織的・計画的・継続的に行っている。
浜田市立第二中学校	寺 田 恭 子	平成21年度、22年度の人権・同和教育研究指定を受け、人権・同和教育の考え方を全ての教育活動の基盤に据え、一人一人の実態をより深く理解して個別の支援に取り組み、学力向上を目指すとともに、温かい心を持ち、人に優しく行動できる生徒の育成を図ってきた。全職員が一丸となってその実践に取り組み成果を上げている。
益田市立益田中学校	中 島 英 二	学校を取り巻く豊かな自然、歴史、文化、人材などを生かした学習を積極的に取り入れ、生徒の豊かな心や地域への愛着を培うとともに、地域・家庭との連携を深め、「開かれた学校づくり」を推進している。平成22年度には、「益中SMILEProject 2010」として駅前通りにプランターを設置するなど、生徒一人一人が地域の方とふれあい、地域に貢献することで、自己肯定感を高める活動に取り組んでいる。
安来市立伯太中学校	石 富 亨	県の学力向上プロジェクト「学び合い高め合う集団づくり」に関して、誰にとっても居心地のいい集団づくりを軸に研究を推進している。各教科において、ペア・グループ学習を積極的に取り入れ、教え合い学び合いを計画的に行っている。小中連携の観点では、小学校間の連携をリードし、小学校卒業後の春休み課題の統一など、いわゆる中一ギャップを埋める取組を行い、小中学校の接続期を生徒の成長のチャンスに変える取組を行っている。

学 校 名	学校(園)長氏名	表 彰 の 理 由
邑南町立石見中学校	伊 藤 幸 男	<p>平成21年度、「学校図書館パワーアップ事業」を受け、全教職員が協力しながら大規模な学校図書館の改造を行い、図書館の機能を飛躍的に充実させた。年間の生徒一人当たりの図書貸出数は整備前に比べて26倍に増え、来館する生徒数も大幅に増加した。学校を挙げて学校図書館を活用した授業実践を推進しており、県西部地域における模範的な取組として、本県の学校図書館教育に寄与している。</p>

(注) 上記の掲載順は、幼・小・中学校、かつ建制順による。

2 団体（1団体）

団体名	代表者職・氏名	表彰の理由
奥出雲町文化体験実行委員会	奥出雲町立鳥上 小学校長 松下 誠	平成17年度から、ふるさと教育の一環として、地域の伝統産業であるたたら製鉄を題材とした体験活動プログラムを、町内11小学校の6年生（複式の場合は5、6年生）児童を対象として実施している。この体験活動を通して、児童は地域の歴史や産業の理解はもとより、たたら製鉄に関わる人々の願いや思いを感じて、ふるさとへの誇りを培うことにつながっている。

3 個人（4名）

氏名	所属・職	表彰の理由
あごう きよこ 吾郷清子	出雲市立西野小学校 主幹	平成17年度から6年間、島根県公立小中学校事務職員研究会の研修部長を務めたほか、出雲教育事務所管内小中学校事務職員研修協議会会長等を務め、研修制度の確立に指導的役割を果たし、現在の事務職員の研修計画の基礎を築いた。長年にわたる活動により、事務職員の資質向上や職務の確立、学校事務の運営改善・効率化等に大きく貢献している。
くろだ みやこ 黒田都	松江市立内中原小学校 教諭	音楽教育における自らの取り組みを体系化し、【「わかる」&「できる」楽しい音楽学習】としてまとめ、全国の音楽科を指導する教員から注目を集めている。児童・生徒へ音楽の楽しさを伝えるとともに、知識やスキルなど新学習指導要領の目標を確実に定着させる指導方法を、常に創意工夫し開発に取り組んでおり、県内の音楽教育向上に大きく貢献している。
たくわ しょうじ 多久和祥司	出雲市立平田中学校 教諭	新聞記事を活用する取組に早期から着目し、社会科学習で新聞を活用した平和学習を展開した。また、「災害から学ぶ」をテーマに新聞記事を活用した道徳や総合的な学習の時間の実践を重ね、多くの生徒の社会意識や想像力と共感力を育てた。東日本大震災直後には、「震災を考える学習」を実践するなど、「生きる力」の育成をめざし、多大な成果を生み出した。
まえひろ きよみ 前廣清美	隠岐の島町立五箇中学校 栄養教諭	児童生徒の心身ともに健全な育成を目指し、学校・保護者・保育園・公民館・行政と連携して取り組んでいる。いち早く地産地消に取り組み、生徒が分かりやすく体得できる食育活動に力を注いでいる。その他、学級活動、総合的な学習でT・T授業に積極的に取り組むなど、栄養教諭、学校栄養職員の模範となり、学校給食の充実や食育の推進に寄与している。

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。